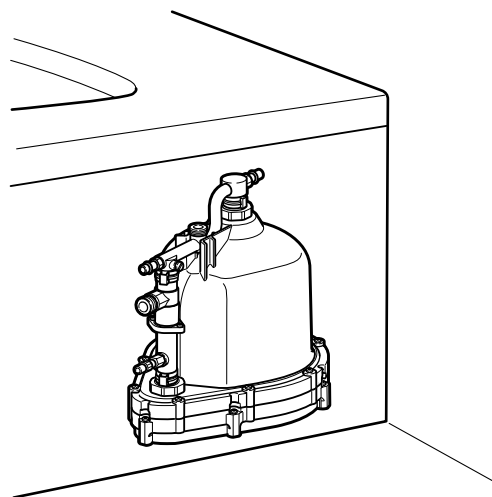
即湯システム

SKT-1A/SKT-2A

取扱説明書

このたびは、当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
＊転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

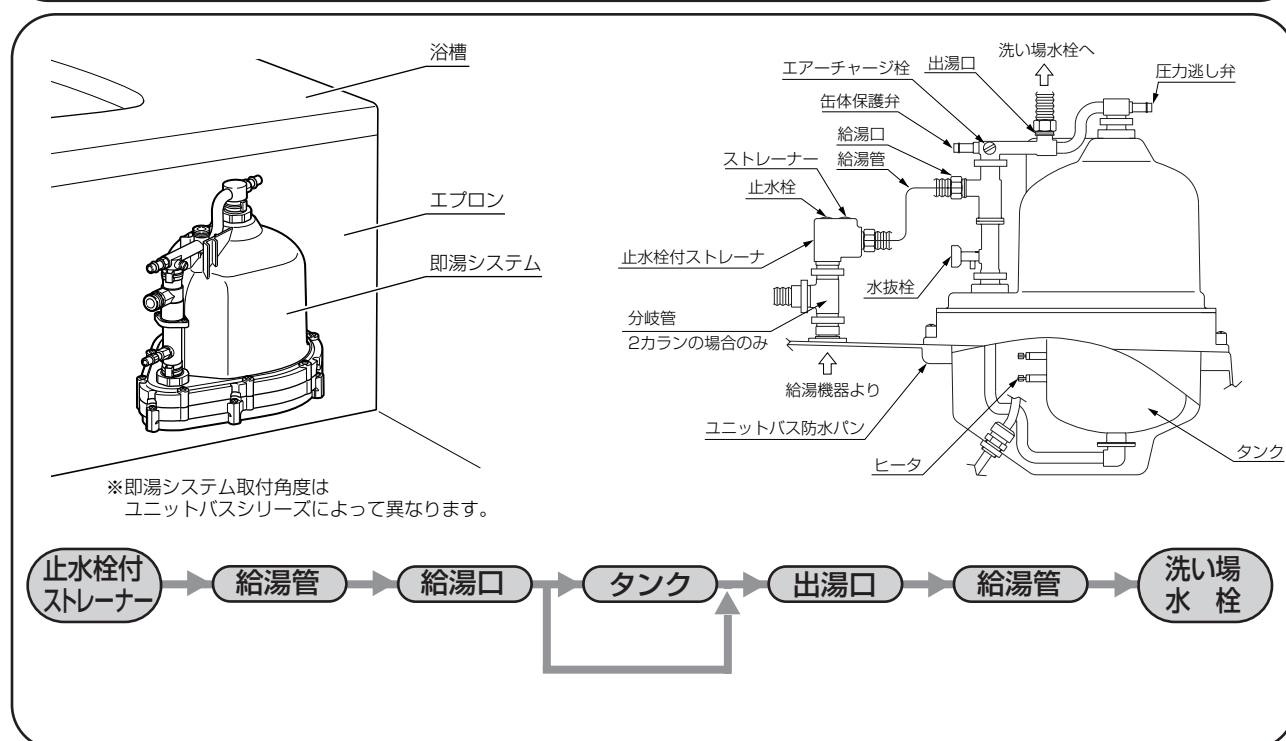
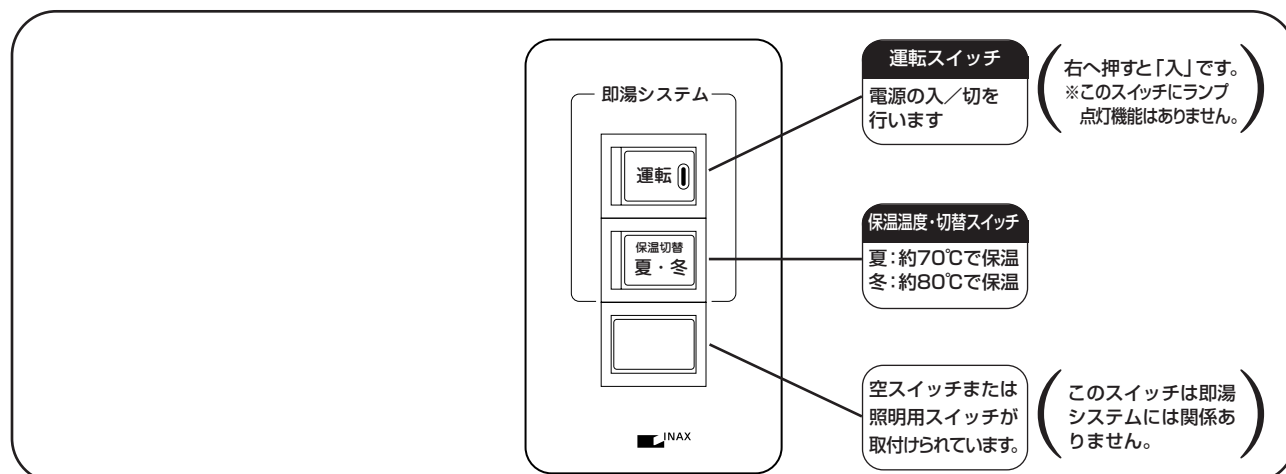
取付業者の皆様へ この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

各部のなまえとはたらき

即湯システムとは

このシステムは、エプロン裏側に設置されたタンクに温水を貯め、水栓使用時に配管などの冷水と混合することで、水栓使用初期の冷水を少なくするシステムです。これを即湯効果といいます。これは洗い場側水栓専用の機能で、浴槽側水栓にはこの機能はありません。

※水栓を短い間隔で使用されたり、使用流量が多い場合には使用途中に温度低下を生じやすくなることがあります。

構造と水の流れ

操作スイッチ

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告** …………「取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ **注意** …………「取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠ ……………………「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……………………「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……………………「分解してはいけません！」（分解禁止の記号です。）

……………………「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

分解しないでください

機器を分解しないでください。
※**感電したり、漏水などの原因**になります。

タンク内に水がないとき

タンクが空のときや水抜きをした後は、絶対に運転スイッチを入れないでください。
※異常に温度が上昇し、**火災や破損の原因**となります。

⚠注意

水抜きについて

水抜栓を開くと高温水が出る場合がありますのでご注意ください。
※**やけどの恐れ**があります。

配管に直接手を触れない

給湯配管や即湯システム金属部に直接手を触れないでください。
※**やけどの恐れ**があります。

水道水以外は使わないで

水道水以外（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）は使用しないでください。
※井戸水成分等により機器が劣化して**漏電や漏水の恐れ**があります。

圧力逃し弁、缶体保護弁に触れない

圧力逃し弁、缶体保護弁から高温水が排出されることがありますのでご注意ください
※**やけどの恐れ**があります。

凍結する季節には凍結防止を

冬期など、凍結する季節になりましたら8ページを参照して凍結防止を実施してください。
※凍結破損し、**漏水の恐れ**があります。

停電の際は

停電などで長時間通電されない状態が続き、凍結の恐れがある場合は、8ページを参照して水抜きを行ってください。
※凍結破損し、**漏水の恐れ**があります。

タンクからの出湯について

水栓使用初期はタンク内の高温水が水栓に供給されるため、給湯機器の設定温度よりも高い温度が水栓より吐水される場合があります。
※**やけどにご注意**ください。

飲まないで

使用水の水質、配管材料などにより水質が変わる場合がありますので、飲用に使用しないでください。
※**身体に異常をおこす恐れ**があります。

使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

給湯機器と水栓金具の設定について

洗い場側水栓のサーモ設定温度は目的とする温度とし、給湯機器の給湯温度設定は60℃以上としてください。
※出湯途中に温度低下が生じやすくなったり、高温水が吐水される場合があります。

長期間使用しないときは水抜きを

長期間使用しないときは8ページを参照して水抜きを行ってください。
※**水質が変化する恐れ**があります。

無理な力をかけないで

本体や配管に無理な力をかけないでください。
※**漏水の恐れ**があります。

漏水などに気付いたときは

水漏れや缶体保護弁からの排水に気付いたときは、すぐに使用をやめ、確実に下記の処置を行い、お買い上げの販売店、工事店または(株)INAXメンテナンスにご連絡ください。

1. 運転スイッチを切る。
2. 給湯元栓または止水栓付ストレーナーの止水栓を閉める。

洗剤等の使用は

浴室で使用する洗剤、カビ取り剤、その他の薬品類は、容器等に記載の注意表示にしたがって正しく使用してください。
※使い方を誤ると、**人体に悪影響を及ぼしたり、漏水や故障の原因**になることがあります。

お手入れのときは

お手入れの際、次のものは使用しないでください。

- ●粉末クレンザー、磨き粉など研磨力の強いもの。
- ●硬いスポンジ(金属タワシ、ナイロンタワシなど)、毛先の硬いブラシ。

※表面に**キズをつけ傷めてしまう恐れ**があります。

- ●溶剤(ラッカー·シンナーなど)、薬品類(アルコール·塩酸·アンモニア·苛性ソーダなど)、およびこれらを含む洗剤、洗浄剤。
- ●「酸性」の洗剤、「アルカリ性」の洗剤(ただしカビ取り剤は除く)。
- ●オレンジオイル配合の洗剤(樹脂部品以外へは使えます)。

※表面が**変色したり、シミになる恐れが**あります。

ご使用方法

使用前の確認

1

即湯システムの運転スイッチが「切」になっていることを確認します。
右へ押すと「入」です。
※このスイッチにランプ点灯機能ありません。

2

給湯機器を運転させます。

- 給湯機器の給湯温度設定は60℃以上としてください。

3

浴室内洗い場側水栓のサーモ設定を40℃以上として、湯を吐水させます。

4

水栓から湯が吐水されること、給湯機器が作動していることを確認します。

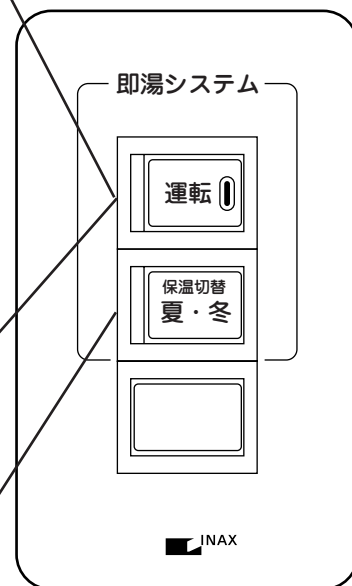
- 水栓使用初期は配管内の空気が排出される場合がありますが、異常ではありません。この場合は、吐水口から空気が排出されなくなるまで吐水させてください。

5

即湯システムの運転スイッチを「入」にします。

- 常時「入」でご使用ください。
- 初期は即湯システムタンク内に水がたまった状態となっており、タンク内が設定温度まで上昇するのに約1時間必要です。そのため、この間に水栓を使用しても、即湯効果が得られない場合があります。

保温温度切替スイッチで保温温度を選択します。

- 夏場は「夏」側で、冬場は「冬」側での保温をお勧めします。

保温温度切替えの目安
- 「夏」で保温：7月頃～10月頃
- 「冬」で保温：11月頃～6月頃

ただし、給水温度や水栓設定温度など各種条件により切替え時期を調節してください。
冬場などに「夏」で保温すると：頻繁に温度低下が生じることがあります。
夏場などに「冬」で保温すると：給水機器が作動しない場合があります。

ストレーナーの掃除

※ ユニットバスがj-bathの場合は、ユニットバスの取扱説明書をご確認ください。

配管内のごみがタンク内部にたまるのを防ぐためにストレーナーを装備しています。ストレーナーにごみが詰まるとお湯の出が悪くなることがありますので、1年に1回以上の頻度でお手入れしてください。

1 タンク内の高温水を排出する

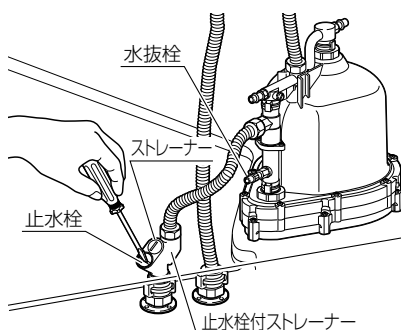
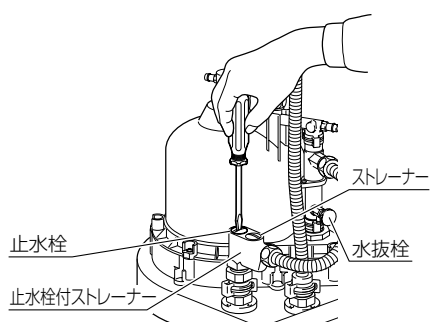
1.即湯システムと給湯機器の運転を停止させます。
2.洗い場側水栓のサーモ設定を40℃以上として、湯を吐水させます。
3.水栓から吐水される湯の温度が給水温度(5℃～25℃程度)まで下がったことを確認し、水栓を閉じます。

ワンポイント この操作により即湯システムタンク内の高温水を水に置き換えます。

2 エプロンを外す

各ユニットバスでエプロン取外方法が異なります。
詳しくは各ユニットバスの取扱説明書をご確認ください。

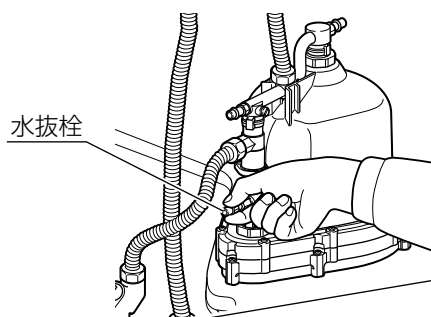
3 止水栓を閉じる

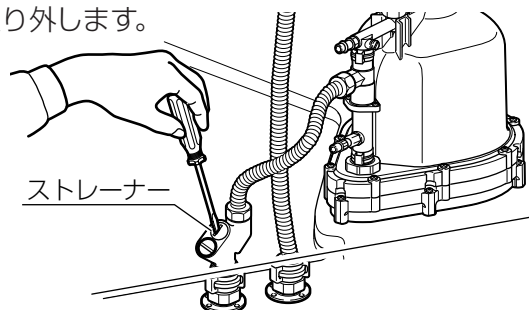
止水栓をマイナスドライバーを使用して閉じます。

⚠注意

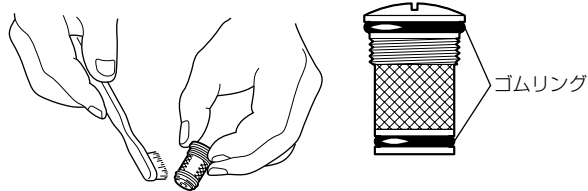
配管が熱くなっている場合がありますので、配管に触れないように十分注意してください。

※止水栓付ストレーナーと水抜栓の形状は2種類ありますのでご注意ください。

4 水抜栓を開く

水抜栓を約5秒間開きます。

5 ストレーナーを外す

ストレーナーを、マイナスドライバーを使用して取り外します。

6 ゴミを取り除く

ストレーナーのゴミを、歯ブラシなどを使用して取り除きます。

ゴムリングを傷つけないように注意してください。
※漏水の原因になります。

7 取り外しと逆の順序で取り付けます

1.ストレーナーを取り付けます。
2.止水栓を開きます。
3.エプロンを取り付けます。

⚠注意

エプロンを取り付けるときは、アクアジェットなどの他の機器に衝撃をくわえないようご注意ください。

8 再運転する

即湯システムを運転して、正しく作動するか確認します。運転のしかたについては5ページを参照してください。

冬期凍結の恐れがある場合

積雪の多い地域だけでなく、暖かい地域でも
思いもよらぬほどの冷え込みで凍結事故が発生することがあります。
凍結する恐れがある場合は、次のいずれかを行ってください。

1）運転スイッチを「入」のままにしておきます。
※室温が0℃以下になるところで、運転スイッチを「切」にすると凍結し、破損、漏水することがあります。
※停電にご注意ください。長時間放置されますと凍結し、破損、漏水することがあります。
2）水栓金具の水抜きを行う場合は、即湯システムについても水抜きを実施します。
「水抜き方法」については以下に記載します。

水抜きと再通水方法

※ ユニットバスがj-bathの場合は、ユニットバスの取扱説明書をご確認ください。

1 タンク内の高温水を排出する

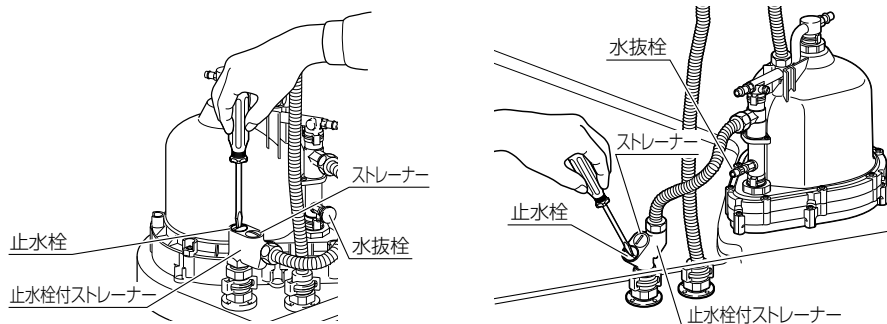
1.即湯システムと給湯機器の運転を停止させます。
2.洗い場側水栓のサーモ設定を40℃以上にして、水を吐水します。
3.水栓から吐水される湯温が常温(5℃～25℃程度)まで下がったことを確認して、水栓を閉じます。

ワンポイント この操作により即湯システムタンク内の高温水を水に置き換えます。

2 エプロンを外す

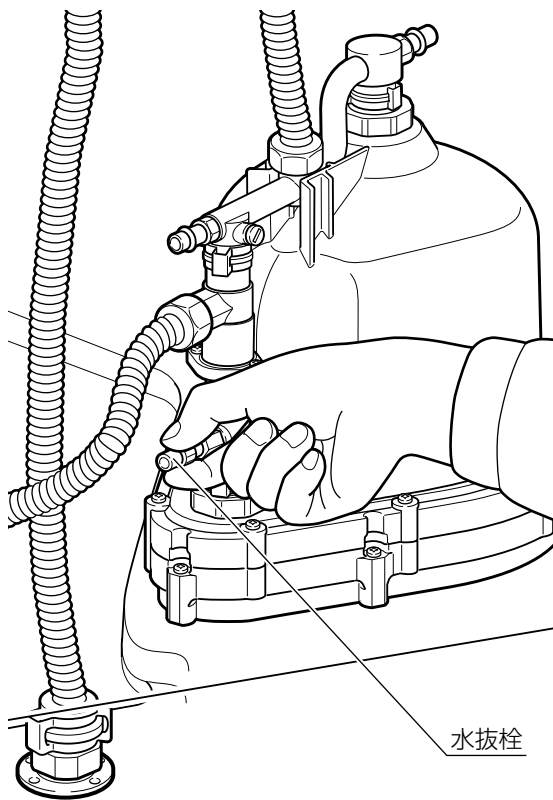
各ユニットバスでエプロン取外方法が異なります。
詳しくは各ユニットバスの取扱説明書をご確認ください。

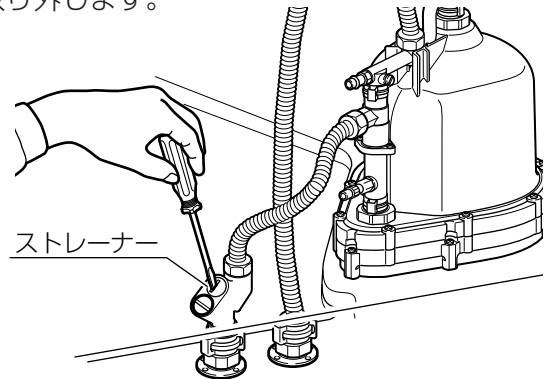
3 止水栓を閉じる

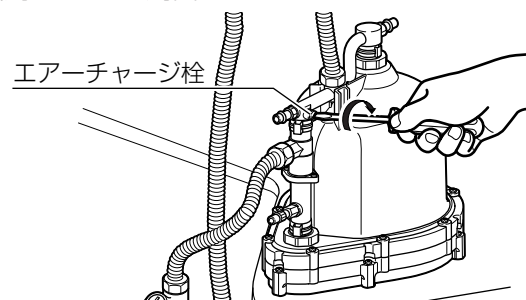
止水栓をマイナスドライバーを使用して閉じます。

配管が熱くなっている場合がありますので、配管に触れないように十分注意してください。

※止水栓付ストレーナーと水抜栓の形状は2種類ありますのでご注意ください。

4 タンク内から排水する

水抜栓を開きます。

5 ストレーナーを取り外す

ストレーナーを、マイナスドライバーを使用して取り外します。

6 タンク内から完全に排水する

配管上部のエアーチャージ栓をマイナスドライバーを使用して2〜3周回します。

ワンポイント 排水には20分程度必要です。

7 ストレーナーを取り付ける

1.水抜栓から排水されていないことを確認して、水抜栓とエアーチャージ栓を閉じます。
2.取り外したストレーナーを取り付けます。
3.取り外しと逆の手順でエプロンを取り付けます。

8 再運転する

止水栓を開き、即湯システムを運転して、正しく作動するか確認します。運転のしかたについては5ページを参照してください。

長期間使用しない場合

長期間使用しないときは、水が腐敗する、凍結するなどの恐れがあります。

その期間中に凍結の恐れがあるとき

水抜きを行ってください。水抜きの方法については8ページを参照してください。

その期間中に凍結の恐れがないとき

運転スイッチを「切」にしてください。

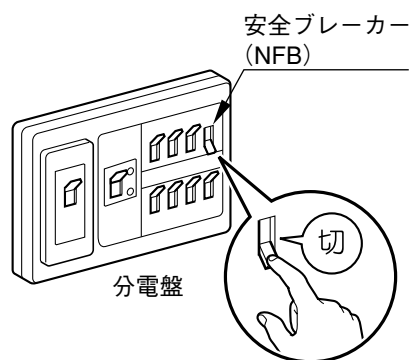
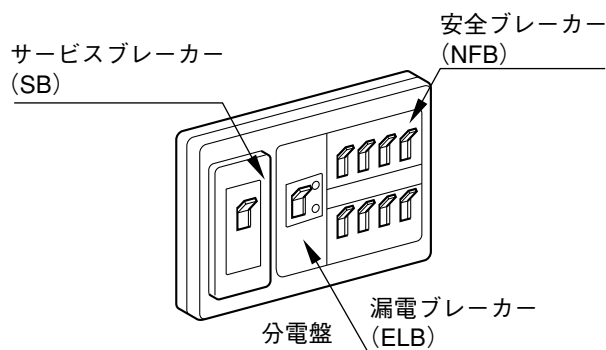
※再使用するときは、3分程水を流し続けてタンク内の水を入れ替えて下さい。運転のしかたについては5ページの「ご使用方法」に従ってください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※**発火したり、異常作動してケガをする恐れ**があります。
※異常のまま運転を続けると**火災や漏電・漏水の恐れ**があります。

浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、電気器具のスイッチおよび分電盤の安全ブレーカーを切り、すみやかに修理を依頼してください。
※異常のまま運転を続けると**火災や漏電の恐れ**があります。

浴室の電気器具とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。
※**浴室の電気器具等に異常がある恐れ**があります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、**火災や漏電等の重大故障の恐れ**があります。

商品に異常を感じたら12ページの「故障かな？と思ったら」を参照してください。
それでも直らない場合は、お求めの販売店または（株）INAXメンテナンスにご相談ください。
取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合は（株）INAXお客さま相談センターにご相談ください。

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現象	原因	処置方法	参考頁
即湯効果が得られない 適温のお湯が出ない 水栓使用途中で頻繁に湯温が低下する	タンク内が適温になっていない。	電源スイッチを「入」にして1時間ほど待つ。	5
	適切な保温温度になっていない。	保温温度を切り替える。	5
	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを「入」にして1時間ほど待つ。	5
	元電源が来ていない。	分電盤のブレーカーを確認する。	—
	停電している。	停電が復帰するのを待つ。（注1）	—
	止水栓が閉じている。	止水栓を開く。	6
	給湯機器の設定温度が低い。	設定温度を60℃以上としてください。	
	給湯機器への通水量が少ない。	お湯の使用量を増やす。	
お湯の勢いが弱い お湯が出ない	止水栓が閉じている。	止水栓を開く。	6
	断水している。	断水が復帰するのを待つ。	—
	ストレーナーにゴミが詰まっている。	ストレーナーの掃除をする。	6
	給湯の能力が不足している。	浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにする。	—
お湯が臭う、 お湯が汚れている	新設後で、タンク内や配管に工事のときの油や溶液などが残っている。	シャワーにしてお湯をしばらく出し、タンク内の湯を入れ替える。	—
	長期間の休止後である。	シャワーにしてお湯をしばらく出し、タンク内の湯を入れ替える。	—

（注1）凍結にご注意ください。凍結の恐れがある場合は8ページを参照して水抜きを行ってください。

上記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

アフターサービスについて

1.保証と保証期間について

即湯システムは設置されているシステムバスルームの保証及び保証期間に基づいて保証されます。

2.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、この商品の製造打切後6ヶ年です。保有期間経過後の修理では、該当部品がない場合がありますのでご了承願います。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

1.おなまえ・おところ・電話番号
2.商品名・品番
3.取付年月日
4.故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
←P.12の「故障かな？と思ったら」参照
5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店、または（株）INAXメンテナンスに連絡してください。

●お求めの販売店

●**（株）INAXメンテナンス**　365日受付＆修理

TEL **0120-1794-11**
受付時間 9：00〜22：00
FAX **0120-1794-56**
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

仕様

電気用品安全法の規定に基づき、型式認可を受けています。

<table>
<tr><td colspan="2">給　水　方　式</td><td>先止め式</td></tr>
<tr><td colspan="2">タ　ン　ク　容　量</td><td>5.8L</td></tr>
<tr><td colspan="2">電　源</td><td>AC100V・50／60Hz（共用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒーター消費電力</td><td>450W</td></tr>
<tr><td colspan="2">保　温　温　度</td><td>約80℃／約70℃（切替式）</td></tr>
<tr><td colspan="2">沸き上がり時間</td><td>約1時間（15℃→80℃）</td></tr>
<tr><td colspan="2">タ　ン　ク</td><td>高耐食性ステンレス</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒーター</td><td>シーズヒーター（ステンレス鋼管）</td></tr>
<tr><td rowspan="9">主要部品</td><td>断　熱　材</td><td>グラスウール</td></tr>
<tr><td>外　装</td><td>ABS+GF</td></tr>
<tr><td>サーモスタット</td><td>バイメタル式
「冬」:ON69℃、OFF79℃
「夏」:ON57℃、OFF67℃</td></tr>
<tr><td>温度過昇防止器</td><td>バイメタル式
OFF89℃・手動復帰型</td></tr>
<tr><td>温度ヒューズ</td><td>定格AC250V・10A
溶断温度133℃</td></tr>
<tr><td>アース</td><td>アース端子</td></tr>
<tr><td>圧力逃し弁</td><td>作動圧力0.9MPa</td></tr>
<tr><td>缶体保護弁</td><td>作動圧力1.5MPa</td></tr>
<tr><td colspan="2">電　気　代</td><td>「冬」側で保温した場合:約22円／日
「夏」側で保温した場合:約14円／日
（22.3円／kwhにて算出）</td></tr>
</table>

株式会社INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日　10:00～18:00
（夏季、年末年始の休みは除く）

FAX 0120-1794-30

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス　365日受付&修理

TEL 0120-1794-11

受付時間　9:00～22:00

FAX 0120-1794-56

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

INAXインターネット・ホームページ・アドレス http://www.inax.co.jp/

取扱店

GPU-0112(09064)